

# 中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第5号  
令和2年7月31日発行

## 学校教育目標

「なかよく かしこく たくましく」

### 三つの約束

- あいさつ
- 整理整頓
- 時間を守る

1年生	41名	4年生	42名
2年生	42名	5年生	57名
3年生	51名	6年生	59名
児童数	5組		6名
全校児童数	298名		

## 令和2年度第1学期の終業式を迎えて

校長 仲田 智宏

本日、1学期を終えることができました。ご協力いただいた保護者や地域の皆様に御礼申し上げます。

令和2年度のスタートをふり返ってみますと、4月8日に予定していた始業式と入学式が急きょ延期になりました。緊急事態宣言が発令されたことによるものです。その後は、臨時休業日が続きました。保護者の方に課題を取りに来ていただいたり、ホームページに学習課題を掲載したりしました。電話連絡で児童の健康状態を把握させていただいたりもしました。5月下旬から分散登校が始まり、6月1日に始業式と入学式を実施しましたが、その後も午前と午後の二部制登校が続きました。6月22日に通常登校が始まり現在に至りますが、給食のない日にはお弁当を持参していただきました。長い間、保護者の方にはご負担をおかけいたしました。

家庭では、外出自粛、感染予防、テレワークなど様々な対応に追われて、大変であったことと思います。そうした中、学校へ多大なるご協力をいただきました。感謝の気持ちでいっぱいです。現在もそうですが、毎日の子どもの健康観察に加え、感染防止のために家族に風邪の症状などある場合は、登校を控える等していただいております。おかげ様で、本日を迎えることができました。中富小学校の関係者の皆様は、本当に協力的です。

学校の中では、感染防止のため制限が多い中、子ども達も教職員もみな力を合わせて生活してきました。授業の遅れを取り戻すため、学習に集中することが求められていました。教室を訪問しておりますと、学習規律を守って勉強していました。子ども達は頑張っています。密になるような話合いやグループ活動を避け、体育では接触を避け、音楽では歌うこ

とを制限し、教員たちも工夫して授業を実施してきました。何より、先生を信じて一生懸命に頑張る子ども達に感動です。6月1日から今日までの授業日数は43日間でした。この間に入学式以外に実施できた行事は、避難訓練と1年生を迎える会だけでした。しかし、その二つの行事は、子ども達も教職員も活動の意義を大切にした取組でした。特に1年生を迎える会は、子ども達が目を輝かせ、すばらしいものでした。

毎朝、手押し信号のところで登校指導とあいさつ運動をしております。6月初旬に見た、なんとなく青白い顔をした子ども達。信号が変わっても歩き出すことができない1年生。教育に携わって初めて見る光景に、恐ろしさを感じました。しかし今、そんな姿はもうありません。子ども達一人一人、皆たくましく成長しています。今後も学校が閉まることなく、2学期も成長する子ども達を見続けたいと願うばかりです。明日から夏休み。いつもの年とは違う夏休みになりますが、子ども達にとっても保護者の皆様にとっても、有意義な休暇になりますことを祈っております。

## 6年生への特別授業

学習内容を次年度へ繰り越せない6年生は、学期末も6時間授業を実施しました。その他の学年は下校し、学校に居るのは6年生だけです。2クラスを6つに分け、児童10人に教員2人の少人数指導が実現しました。元担任による授業や教員の得意分野を生かした授業も実施しました。学習指導の強化、様々な教員とのかかわり、いずれ中学校で教科担任制になることへの備え等、6年生へ教員たちが熱い思いを込めました。コロナ禍でありながら、夢や希望を感じさせる取組でした。